

安心・安全で魅力あるまちづくりへ、 全力で取り組みます



市長 関好孝

新年明けましておめでとございませう。皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

市では、「新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化」および「災害からの復旧・復興と災害に強いまちづくり」を最優先課題とし、全力を挙げて取り組みでまいりました。

新型コロナウイルス感染症対策については、感染防止に向けてさまざまな対策を講じるとともに、ワクチン接種について、医師会等の協力を得ながら取り組みを進め、接種を希望される市民の皆様の2回目の接種をほぼ終えることができました。

災害からの復旧・復興については、発災直後から被災箇所の応急復旧を行うとともに、被災された皆様の生活再建に向けた支援に取り組んでまいりました。また、みなと校区において、排水路の拡張とともに、三川ポンプ場の耐水化と機能増強を行ったことをはじめ、市内の防災力の強化に取り組んできたところです。

併せて、「若者が夢をもって働くまちづくり」、「子育て世代に魅力的なまちづくり」、「安心して元気に暮らせるまちづくり」の3つのまちづくりに取り組んでいます。

ITやAIなどに携わる若者や企業が分野の垣根を越えて交流し、新たな連携やチャレンジを生みだすため、イノベーション拠点の創出を進めるとともに、新大牟田駅南側産業団地の整備により、駅周辺がさらに魅力ある交通結節点となるよう取り組んでいます。また、後継者の育成につながる農業、水産業等の振興や「学童保育所の待機児童ゼロに向けたパッケージ」などの取り組みを推進していきます。

今年はいよいよ、(仮称)総合体育館が着工となります。延命公園全体の整備と併せて、誰もが安心して安全に、楽しく利用していただける拠点づくりに取り組んでまいります。市民の皆様の引き続きのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。皆様にとりまして、本年が健やかで幸多き年でありますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶と致します。

春



令和三年

大牟田市10大ニュース

新たな年を迎えるに当たり、令和三年の出来事を10大ニュースとして振り返ります。

一 大牟田市動物園80周年&ともだちや絵本美術館オープン

二 新型コロナウイルスワクチン接種他、新型コロナウイルスへの対策続く

三 令和3年8月大雨災害 24時間降水量が8月の観測史上最大を記録

四 市民念願の浪川会本部事務所撤去解体。跡地は市の所有へ

五 令和2年7月豪雨災害から1年 復旧復興と災害に強いまちづくりを目指した取り組みが進む

六 東京2020オリンピック アフガニスタン選手が事前キャンプで大牟田入り

七 本市初の女性副市長、女性教育長が誕生

魅力あふれるまち大牟田のため、
今年も全力で取り組みます



市議会議長 光田 茂

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、希望あ
ふれる輝かしい新年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍の影響により、私たちの地域社会でも会食
やイベントの自粛も状況に応じて実施されましたが、新たな
変異ウイルスの出現など今後も感染拡大が危惧されており、依
然として予断を許さない状況でございます。また、災害につ
きましても、令和2年7月豪雨に続き、昨年8月に豪雨に見
舞われております。

このような本市を取り巻く厳しい状況におきまして、コ
ロナ禍を乗り越えるべく、地域経済の活性化とともに、災害から
の復旧・復興に向けた取り組みの推進が求められております。

そして、まちづくりへの歩みをとめることなく、いつまで
も住み続けたいと思える大牟田のまちづくりに今後も取り組
んでいく必要があります。

市議会としましては、昨年の議会報告会において、地域コ
ミュニティ組織の代表者の方々から、地域に関する切実なご
意見・ご要望などをいただきますとともに、新たな試みとして、
より一層若者世代の声を市政運営に反映させたいという思い
から、高校・高専・大学の学生との意見交換会を行いました。

また、学生の皆さんが政治への関心を高め、議会を身近な
存在として理解してもらえよう議会の役割等も交えながら、
魅力あるまちをとともに考える機会としたところです。

若い皆さん方の自由で柔軟な発想力には、改めて気づかさ
れるものがあり、今後の議会活動に生かしてまいる所存です。

愛する郷土大牟田を未来に誇りを持って引き継ぐことがで
きるよう、市議会議員全員で、「豊かなまちづくり」に全力
で取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力をよ
ろしく願います。

結びに、本年が皆様方にとって幸多き年となりますことを
心から祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

迎

本年もよろしく

お願い申し上げます

江上 しほり
大野 哲也
北岡 あや
桑原 誠
境 公司
崎山 恵子
塩塚 敏郎
島野 知洋
城後 徳太郎
徳永 春男
中原 誠悟
平嶋 慶二
平山 伸二
平山 光子
古庄 和秀
松尾 哲也
光田 茂
三宅 智加子
森 遵
森 竜子
森田 義孝
山口 雅夫
山田 修司
山田 貴正

(50音順)

公職選挙法により、本紙をもって
新年のご挨拶とします。

八

ごみ固形化燃料(RDF)発電事業の継続
が決定 第3セクター「大牟田リサイクル
発電株式会社」と「JFEエンジニアリ
ング株式会社」が事業承継に係る契約締結

九

近代化産業遺産「丁工場」の解体が決定

十

映画「向田理髪店」制作発表。大牟田で
約2週間にわたるロケ



「心の輪を広げる体験作文」で “久保なのは”さんが、最優秀賞を受賞しました



「心の輪を広げる体験作文」は、毎年、障害者週間にあわせて内閣府が募集しているもので、今年度は全国で1,971人の応募（小学生336人）があり、手鎌小学校2年生の久保なのはさんの作品が、小学生区分の最優秀賞（内閣総理大臣表彰）に選ばれました。

久保さんはアニメーション映画「^{こえ}聲の形」を見て手話に興味を持ち、昨年の夏休みに総合福祉センターで行われている手話の会の会議に参加し、その時の体験や思いを作文につづりました。



内閣総理大臣からの賞状を手に

表彰式（東京で行われ、代表で作文を朗読）は緊張したけど、うれしかったです。手話は耳が聞こえない人に、自分の気持ちを伝えられるところが楽しいです。もっと上手になって、たくさん友達を作りたいです。

えがおをつなぐ手話

手鎌小学校2年

久保なのは

わたしは、夏休みにずっと気になっていた手話についておべんきょうをしました。

おべんきょうをしていくうちに、手話を体けんしたいなという気もちがふくらんできて、おかあさんにさがしてもらいました。

コロナウイルスであつまるイベントがすくなく、やっと見つかったのが社会ふくしそうごうセンターでひらかれる手話の会の方の会ぎの日でした。いっぱい本を読んで、本にのっていなかったことや、気になった手話のことをメモして、社会ふくしそうごうセンターに行きました。

「ちゃんとしつもんできるかな。」

と、しんぞうがドキドキしてたまりませんでした。おへやに入ると、ちょうど手話の会がはじまっていた。ホワイトボードに、

「きょうは、見学しゃの方がいます。小学校2年生です。」

と、書かれていました。しばらくして、休けいじかんになりました。おへやの中があつくてタオルであせをふいていたら、一人のおじいさんが、えがおでせんすをもってきてくれました。耳が聞こえない人と気づいたので、わたしはおべえた手話で

「ありがとうございます。」

と言いました。すると、おじいさんが

「どうぞ、どうぞ。」

と手話をされました。なんだかこころが、ホワッとしてうれしい気もちになりました。

休けいじかんがおわると、いよいよしつものじかんです。

「小学2年生の久保なのはさんから、しつもんがあるそうです。どうぞ。」

と、しょうかいがあり、前にではっぴょうをしました。この日は、耳が聞こえない方が六名、目の見えない方が一名さんかされていました。目が見えない方は、手話を手でさわり読みとつていました。ふしぎだなと思っていると、手話の会の方から

「しよく手話というのよ。」

と教えていただきました。しつもんをしているときには、となりに立たれている方が、内ようを手話になおして下さいました。手話をわたしに通やくして下さる方もいてドキドキしたけれど、とてもたのしいじかんでした。

さいごに、おべえた手話でじこしょうかいをしました。みなさんにたくさんはく手をしていただけて、うれしかったです。

今は、マスクをしていて口もとが見えなくて、ひようじょうもわかりにくいです。手話で会話をする人たちにとって、とてもたいへんなことだなと思いました。

手話で耳の聞こえない方とお話しして、手話がかえってくると、とてもたのしいです。手話で通やくをしている方は、かっこいいなと思います。わたしは、目が見えて、耳が聞こえることを、しあわせだなと思います。でも、せかいには、いろいろなしょうがいをもつ方たちがたくさんいます。

わたしは、手話をおべえて、耳が聞こえない人に、いろいろな音やこえをつたえられるような人になりたいと思いました。



映画「向田理髪店」のロケが行われました

2022 年秋～冬
全国ロードショー

原作は直木賞作家・奥田英朗さんの「向田理髪店」。元炭鉱で栄えた小さな町を舞台に、理髪店の親子の葛藤を軸に、過疎化、少子高齢化、結婚問題など、地方が抱える社会問題をユーモラスに描いたヒューマンドラマです。

映画のイメージに合っていると、監督の森岡利行さんが、大牟田を舞台にと決定。商工会議所青年部や地域の皆さんなどの協力のもと、12月1日から約2週間、宮原坑や三池港、市庁舎など、市内のさまざまな場所で撮影が行われ、延べ約600人の市民エキストラが参加するなど、盛り上がったロケとなりました。映画は2022年、秋～冬に公開予定です。

市内のさまざまな
場所でロケが
行われました！

延べ約600人
のエキストラ
が参加！



左／上内の橘香園で行われた公開ロケ。慣れない方言で熱演する高橋克実さんと白洲迅さん
右／宮原坑でのロケは、約100人のエキストラが集まり、盛り上がりしました



豪華キャストが揃いました



高橋克実さん
(主人公)



富田靖子さん
(主人公の妻)



白洲迅さん
(主人公の息子)



近藤芳正さん
(主人公の友人)



板尾創路さん
(主人公の友人)



地域の人が見守る中で行われた理髪店での撮影

主人公の向田康彦を演じるのは、映画初主演の高橋克実さん。東京から帰郷し「会社を辞めて店を継ぐ」と宣言する息子役に、現在ドラマ出演が相次いでいる白洲迅さん。2人のやり取りを優しく見守る妻役に富田靖子さん。主人公の友人役として、板尾創路さんと近藤芳正さんらが脇を固め、豪華出演陣でベストセラー小説の映画化を彩ります。



大牟田での撮影を終えて

高橋さん

商工会議所青年部の皆さんをはじめ、市民の皆さんの協力が素晴らしかったです。映画では何気ない日常や人の温かさを感じてほしい。

富田さん

大牟田の皆さんの笑顔がとても素敵で、楽しいロケでした。映画の中で描かれているふるさとを思う若者の姿をみていただければ。

森岡監督

宮原坑や三池港、自然の風景など、大牟田の魅力に引き寄せられるように撮影しました。キャストも豪華で、キャリア最高の作品になるようがんばります。



クランクアップ後。笑顔で記者会見する高橋さんら